

福徳岡ノ場の火山活動解説資料（令和3年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

9日に海上保安庁が実施した上空からの観測で変色水域を確認しました。
海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。
今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。
平成19年12月1日に噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。その後、警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

9日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、青白色の変色水域が認められました（図1）。
海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています（図2）。
2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。

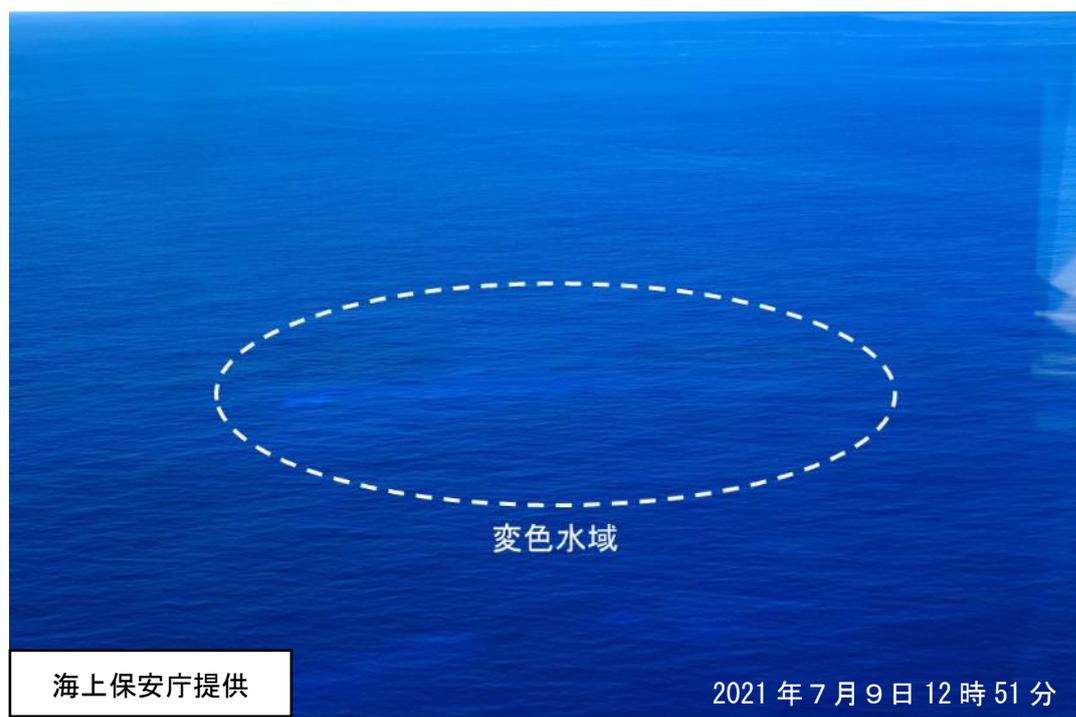


図1 福徳岡ノ場 海上保安庁が実施した上空からの観測結果（7月9日）

- ・ 9日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、青白色の変色水域が認められました。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。

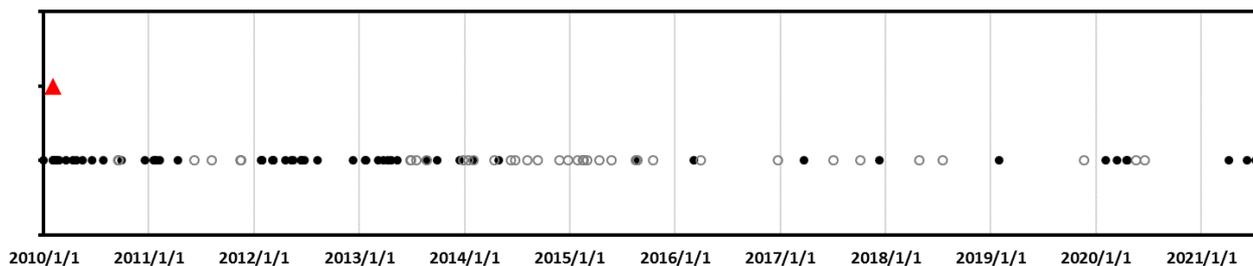


図2 福徳岡ノ場 2010年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。●は変色水域が認められた観測、○は変色水域が認められなかった観測、▲は噴火が認められた観測を示します。

- ・ 2005年の噴火以降もたびたび海水変色が認められる状況が続く中、2010年2月3日に小規模な海底噴火、浮遊物、変色水域が認められました。その後も断続的に変色水域が認められています。

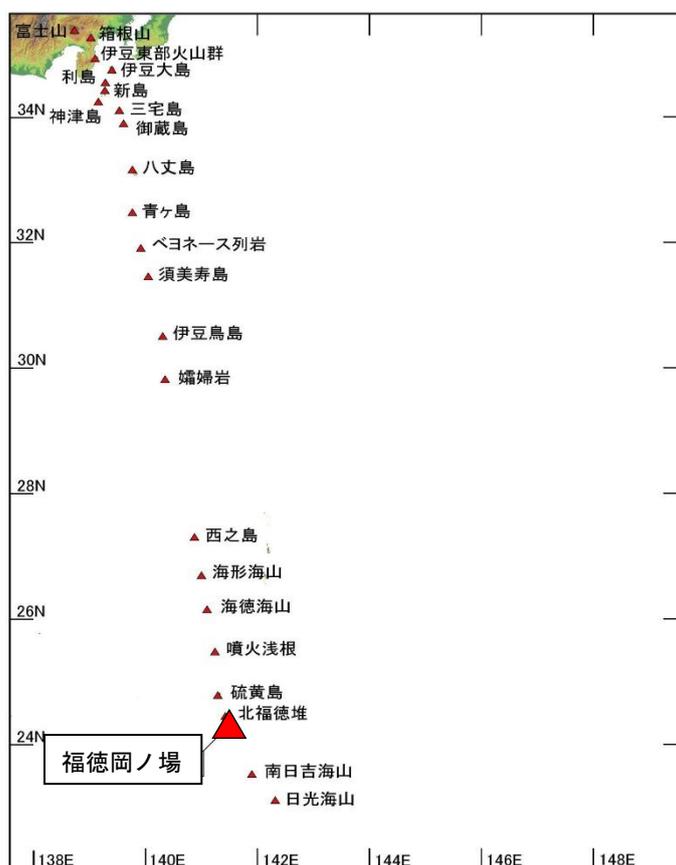


図3 福徳岡ノ場 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福徳岡ノ場

地図は、日本活火山総覧（第4版）から引用。